



2021年3月10日発行
 特定非営利活動法人
 盛岡YMCA
 〒020-0021
 盛岡市中央通 3-7-18
 ラ・ベルヴィ中央 1F
 Tel 019-623-1575
 Fax 019-623-1579
 www.moriokaymca.org
 発行人/ 濱塚 有史
 編集/ 本部事務局

YMCA News



「YMCA最高」



6年間、ぶらいむ・たいむ本町校にお世話になりました。学校が終わって本町校に帰ると、リーダーたちが笑顔で待っていてくれて、いつも優しく宿題を教えてくださいました。違う学校の友達もたくさんでき、楽しい放課後を過ごすことが出来ました。

2年生から本町サッカースクールに通うようになりました。スクールで教えてくれたGパン(※1)のサッカーを見て、すごくかっこよくてサッカーが上手になりたいと思ったことを覚えています。初めて出場したフットサル大会でオウンゴールしてしまったとき、いわぞん(※2)が『大丈夫。笑い話にしちゃえばいいんだよ。』と言ってくれて、失敗を恐れないことや、人は言葉に救われるんだということを学びました。

3年生から本格的にサッカーを学びたいと思い、ベストキッズに入りました。4年生で出場したモリテンリーグでは、サッカーの結果は出せなかったけれど、たもりさん(※3)からは整理整頓、あいさつ、自分のことは自分でやる、仲間を大切にすることの大切さをまなびました。

5年生になって、ベストキッズのキャプテンを任せてもらいました。Gパンがベスト傷のところに背負っていた12番という番号をもらえたときはとてもうれしく、身が引き締まる気持ちになりました。サッカーキャンプや合宿などの楽しい思い出、暑い夏や寒い冬、励ましあって厳しい練習を共に乗り越えたこと、試合で負けて悔し泣きしたり、新人戦で10年ぶりに決勝リ

ーグに勝ち上がってみんなで抱き合って喜んだり、仲間たちと過ごした時間はかけがえのない宝物です。キャプテンは責任感も大きかったけど、ベストキッズは本当に楽しかったです。

いつも隣で支えてくれた、ぶらいむ・たいむ前潟校6年でベストキッズ副キャプテンの齊藤大晟君、ぶらいむ・たいむ盛南校6年でキーパーの刈屋陽人君、学年関係なくとも仲良しな5年生以下のチームメンバーには、感謝の気持ちでいっぱいです。そしてサッカーの楽しさ、サッカーから学ぶ基本的な生活態度、仲間を大切にすることを教えてくれた、Gパン、たもりさん、シドウ(※4)に心から感謝しています。

6年間、僕と関わって下さったYMCAのスタッフ、リーダーの皆さん本当にありがとうございました。

- ※1:ベストキッズOBで現ベストキッズ監督(スタッフ)
- ※2:今年度卒業リーダー
- ※3:ベストキッズコーチ(スタッフ)
- ※4:ベストキッズコーチ(スタッフ)

ぶらいむ・たいむ本町校6年
 ベストキッズキャプテン 大崎蒼太

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

～ 退職する職員・卒業するリーダーより ～

今から6年前、子どもを対象にする仕事を探していて、インターネットで児童館や学童の求人サイトを見ていたら、盛岡YMCAという文字がありました。ホームページを閲覧していたら、自分の命も相手の命も大事にしようという一文があり、いいなあと思い、面接を受けて採用して頂きました。そして盛岡YMCAは人を、命を大事にする組織だということを学童や水泳、サッカー、野外活動を通して強く感じて、私も周りの人を大事にしようと思い、やってきました。

そう感じられるようになったのは、スタッフ、リーダー、子ども達といった、周りの人のおかげです。みんなのおかげで成長することができて今の私がいます。少しずつですが、良い方向へ向かって進めたことはYMCAで学ぶことができた大きな財産です。新しい環境に行っても、YMCAで培った経験、体験を活かして歩いて行こうと思います。

YMCAからは離れるけど大切な場所であることは、ずっと変わりません。皆様、本当にありがとうございました。

盛岡YMCA本町センター
副センター長 中村圭一

今年度で盛岡YMCAを退職することとなりました、向平悟(Gぱん)です。盛岡YMCAに入職し、様々な人との出会いに支えられこれまで活動させていただきまし。活動はサッカーを中心に、季節キャンプや学童などを担当させていただきました。これまでのことを振り返ろうとすると、書ききれなくなってしまうほど、たくさんの感情が湧き出てきます。

そんな大好きな盛岡YMCAと3月末で職員としては、区切りをつけることとなりました。嬉しかったことも、辛かったことも様々ありますが、どちらかと言えば嬉しかったり、笑っている時間が長くて、盛岡YMCAで長い時間が過ごせたことは幸せに思っています。

出会い、共に時間を過ごしてくれた子どもたちやその保護者の方々、リーダー、スタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは盛岡YMCAの進化に負けない様、私自身も夢を抱き、進化していきます。4年間という短い時間でしたが、ありがとうございました。

盛岡YMCA向中野センター
向平悟(Gぱん)

私がこの盛岡YMCAに初めて来たのは今年の 2月でした。当時大学4年生で、とちぎYMCAのリーダーでもあった私は、「盛岡のYMCAってどんなところなんだろう」「盛岡の子どもたちはどんな子どもたちなんだろう」と考えながらここに来たことを思い出します。そのとき出会った子どもたちが人懐っこく話しかけてくれ、初めて会う私と一緒に遊んでくれたことで、なんてあたたかい場所なんだろうと感じることができました。

その後、4月から前潟センターの職員となり、本当に様々な経験をさせていただきました。今年度はコロナ禍で思うようにならないことも多々あったと思いますが、職員・リーダー・保護者の方々・そして子どもたちと協力しながら過ごした1年間は私にとって忘れられないものとなりました。私は今年度をもって盛岡YMCAをはなれますが、これからも盛岡YMCAにかかわる皆様笑顔であたたかく過ごせるような盛岡YMCAであってほしいと願っています。1年間お世話になりました。ありがとうございました。

前潟センタースタッフ 石川栞(ましゅまる)

こんにちは!この4年間で、たぶん1番多く叱ってもらえたシュリンプです!今年で僕もボランティアリーダーは、卒業です。今は「長いようで短かったな～」と実感しています。入った頃は、特に人に興味も無く、自分を守ることに必死だった僕も、YMCAと出会えたおかげで、様々な人と関わること、新しい体験を恐れずにやってみることに楽しさに気づけました。何度もご迷惑をおかけする度に、見放さず叱ってくれた皆さん。

会う度に「ちゃんと食べているか、元気か?」など、心配してくれた皆さん。たくさん笑ってくれた皆さん。自分の知らない楽しさを教えてくれた皆さん。ワイズ・スタッフ・リーダー・子ども・保護者等の皆さんの皆様のおかげで、この一生モノの気づきを得ることが出来ました。ありがとうございました。YMCAめっちゃ大好きです!!!YMCA最高!!!YMCAありがとー!!!ほんとうに、4年間ありがとうございました!

岩手大学4年生 宮澤秋彦(シュリンプ)

私は入学して初めてYMCAを知り、教育に役立ちそうというのが最初の動機でした。活動のなかで楽しさややりがい、つながりが生まれていくことに喜びを感じ、気づけば自分の中でYMCAという存在が大きなものになっていました。このYMCAでの4年間で得ることが出来たのは、かけがえのない思い出と、そして少しの勇気です。私はネガティブ思考で自分に自信を持つことが苦手で、今も得意な方ではありません。

しかし、YMCAの活動を楽しんでいる中でその時だけは、弱気な自分はどこかに行ってしまうしていました。後ろ向きがちな自分に中にいる、少しの勇気を持った自分に気づけた瞬間でした。これはYMCAを通して関わった全ての人のおかげです。スタッフやリーダーをはじめ、ワイズの方々や関わった子どもたち、たくさんの人とのつながりの上に自分という人間が出来上がっているのだと思います。このつながりを大切にしながら、さらに広げていけたらと思います。4年間本当にありがとうございました。

岩手大学4年 前田隼輔(ガルベス)

こんにちは!ラフです。ついに自分にも卒業の時が訪れてしまいました。一緒に活動してきた仲間達、スタッフやワイズメンズクラブの方々、そして保護者の皆様とたくさん子どもたち。YMCAに関わる全ての方々のおかげで、私の人生のターニングポイントとも言える、無くてはならない貴重な学びや成長を得られた4年間を過ごすことができました。中でも一番の気付きは、「人とのつながりの大切さ」を知ったことです。一緒に活動してくれる仲間や子どもたちとそれを支えてくれる方々、そういったつながりの中に自分はいま。周りの人々とつながり、手を取り合っても成長していくことが、いかに価値のあることかを私はYMCAの活動を通じて教えていただきました。どのような形であれ、このつながりは断たれることなく、広がっていきます。YMCAでのみなさんとの様々な思い出を胸につなげ、歩み続けたいと思います。みなさん、4年間本当にありがとうございました。

岩手大学4年 笹川大地(ラフ)

「目の前の子とも向き合う」という言葉が、綺麗事のように聞こえてしまっていた私は好きではありませんでした。1年生の頃から様々な活動に行ってみて、今強く感じるのは、「2人きりでもいいから目の前の子ともハマる遊びを探し出せた時が一番楽しいな。」という事です。その瞬間だけは自分達が一番楽しんでいる自信しかありません。あんなに受け入れられなかった言葉に、見事に論破されてしまった気分です。どんなリーダーになりたいか、どんな活動をしたか、何を信じたいかは十人十色だと思うし、自分を信じてやりたい事をやり通すのはとても素敵な事だと思います。そんな中、みんなの言っている事が綺麗事に聞こえてしまうというひねくれ者が、もしいたら、騙されたと思って一度くらい信じてみるのもありかもしれません。そうやって信じていけるものが増えたら良いなと思います。みんなのやりたい事が一つでも多く実現できますように!心から応援しています。

岩手大学4年 鈴木凜奈(つくし)

盛岡YMCAには自分が小学生の頃にサッカー組で参加していた。そのため、大学生になり岩手大学にもYMCAがあるということを知ったとき、そして当時のスタッフに覚えていてもらっていたことにはとても驚いた。どのような雰囲気で行動しているのかとてもイメージがしやすかったので今度はリーダー側として参加したいと考えた。活動は、高校生のときに水泳部に所属していたこともあり、水泳がメインの活動だった。普段の練習を通して、子供たちが出来なかったことが出来るようになっていく姿を見てると自分も頑張らなくてはと応援されているように思えた。そして自分にとって水泳の活動は、一番身近に子供たちの成長を感じることができる場であり、一緒に活動してきて本当に良かったと思っている。今年度で大学および盛岡YMCAの卒業という節目を迎え、お別れとはなるが、ここで共に活動してきた人達にはまた出会いたいと心から願う。

岩手大学4年 大川義敬(やんぼー)

こんにちは!レモンです!この度盛岡YMCAを卒業することになりました。初めて子どもたちと関わることになった活動はサッカーで、もともとサッカーをやったことがなくて運動も得意でなく、行く直前まで不安を抱えていたことを今でも覚えています。それでも初めてのサッカー活動が終わったときにはその不安はなくなって、楽しかった!来てよかった!と感じたからこそ今があることにとっても感謝しています。私が盛岡YMCAでの好きな瞬間は、子どもたちと「またね」と言いあうときです。毎回会うたびに新しい発見や、なんてことはない遊びでさえも一緒にやるととっても楽しくて、次また会える日を待つ時間さえも今度は何しようかなとワクワクでいっぱいでした。私にとって盛岡YMCAがまた来たいと思えるような場所であるように、子どもたちや他のリーダーにもそうであればいいと思います。レモンとしてとにかく前を見て多くの人と共に歩んだ4年間に胸に、これからは違う場所で頑張っていきたいと思っています。今まで支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました!!

岩手大学4年 安恒史織(レモン)

私がYMCAの活動に参加して良かったなと思うことを紹介します。それは、子ども達と関わることの楽しさと難しさを知ることができたことです。今では大好きなサッカースクールですが、通い始めの頃は戸惑うことも多くありました。しかし、ルールや分からないことを聞けば、「自分が教える!」と言わんばかりに説明してくれたり、見て欲しいことや気づいて欲しいことを様々な形でアピールしてきたりする子ども達は、可愛くて頼もしく、毎週のサッカースクールが楽しみになりました。その中で、一人一人との向き合い方、個の活かし方、自分の立ち位置等々考えさせられることももちろんありましたが、それらも含めかけがえのない経験をさせていただいたと思っています。最後に、活動に来てくれる子ども達、保護者の皆様、スタッフ・ワイズの皆様、リーダーのみんな、盛岡YMCAに携わる全ての方々へ感謝の気持ちで一杯です。たくさん支えがあって活動ができていたのだと実感しています。本当にありがとうございました。

盛岡大学4年 佐藤春希(まる)

こんにちは!つよぼんです!!4年間、盛岡YMCAのリーダーとして活動してきましたが、ついに卒業の時が来てしまいました。4年を振り返ってみると1年生の頃には「なんでこんなにいつも楽しそうなんだろう」と他のリーダーのことを見ていましたが、いつの間にか自分もそんな変なリーダーたちの1人になっていました。4年生になっても子どもと関わる難しさを感じる場面は多くありますが、こうして頑張れるのは一緒にたくさん考え悩んでいるリーダーたちがいてくれたから、そして、リーダーたちと遊ぶのを楽しみにしてくれている子どもたちがいてくれるからだと感じています。子どもたちに「つよぼん!」と名前を呼んでもらえることがこんなにうれしいことだとは思いませんでした。最後の年に様々な活動が制限されてしまったことだけが心残りですが、その気持ちを4月からの生活にぶつけていきたいと思っています!4年間本当にありがとうございました!!!

盛岡大学4年 千葉文彦(つよぼん)

はじめは盛岡YMCAの存在など知らず、友人から誘われた新入生歓迎会で先輩リーダーやスタッフの勢いに圧倒されました。将来子どもと関わる仕事に就きたいから、ボランティアぐらいはやっておきたいとそう思って水泳に行ったあの日から早3年半、盛岡YMCAでの多くの出会いが、大学4年間の生活を彩っていました。そこで出会った子どもたちをはじめ、リーダーやスタッフのみなさんには、「いわぞん」というリーダーを育てていただき、感謝しかありません。本当に離れたくないくらい、盛岡YMCAの子どもたちが、リーダーが、スタッフが、みんなが大好きです。色々な場所でたくさん遊んで、笑って、泣いた日々を、絶対に忘れません。これからみんなといつも通り遊べなくなる、会えなくなると考えるととても心が痛いです。ですが、私は岩手県からいなくなるわけではありません。またいつもみたいに「いわぞん!」「いわ!」と呼ばれたらすぐさま登場します!また、必ず、どこかで会いましょう!ありがとうございました。

盛岡大学4年 小岩壯太(いわぞん)

こんにちは。げじです!私は小学生4年生の頃から松園サッカースクールとベストキッズでサッカーをしていて、中学生ではジュニアユースのメンバーとしてサッカーに励み盛岡YMCAで育ちました。そして現在は2年間リーダーとして本当に長い時間盛岡YMCAの活動に参加することができて本当に嬉しく思います。子どものころと一緒にサッカーをしていたリーダーたちがリーダートレーニングや活動前のミーティングをしていたことを私がリーダーになってから知り、リーダーの凄さと大変さを痛感しました。そしてリーダーとして子どもたちと一緒にサッカーを通して様々な思い出ができました。盛岡YMCAを卒業するのは3回目になりますが、私はリーダーになれたことでも充実した2年間を過ごすことができました。これからは優秀な税務職員になれるよう努力していきたいと思っています。今までありがとうございました。

上野法律ビジネス専門学校2年 向平茂(げじ)

私は、専門学校に通いながらYMCAの活動を通して色々な事を経験することが出来ました。ほかのリーダーたちと学校が違うということもあり、あまり活動にも参加することは出来ていませんでした。しかし、数少ない活動に参加していた中で沢山の子どもたちと接することもあり、二年という短い期間の中でしたがとても楽しかったです。私は、最初は参加者として、高校の時にYMCAを知りそこで多くの活動に参加していました。そして、専門学校に進学し次はリーダー側を経験し活動準備の大変さを知りました。

しかし、活動を終えると達成感などいろいろな感情があり二年間の学生生活がとても充実していたと思います。活動を通して得た経験はこれからの自分の将来や仕事に活かしたいと思っています。

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校2年 吉田樹(からあげ)

誰一人取り残さない

春のリーダートレーニングが始まった。一作年からキャンプや、サッカー、水泳等の技術や知識の習得だけではなく、広く社会の様々な課題について学ぶ機会を設けるようにしている。先日は、元日本YMCA同盟総主事の島田茂さんを講師に「SDGsとYMCA」についての学びをオンラインで開催した。講義の最後にリーダーの一人が「SDGsには、17のゴールと169のターゲットがあるが、その根本は、『誰一人取り残さない』という一言につきると思う。そしてそれは、僕たちが日々のYMCAの活動で目指していることだ」と感想を述べた。

今から127年前、日清戦争のあった年の夏、内村鑑三は、YMCAに集う青年達に次のように語った。「・私の心に清い欲が起こってくる。すなわち私に五十年の命をくれたこの美しい地球、この美しい国、この楽しい社会、このわれわれを育ててくれた山、河、これらに私が何も遺さずには死んでしまいたくない、との希望が起こってくる。『後世への最大遺物』岩波文庫より」

スタジオジブリの映画で有名なゲド戦記の作者ル・グウィンはこのように語った。「All the hope left in the world is in the people of no account.」(世界に希望が残されているとしたらそれは名もなき人々の中にある。) 今もなお、混迷を極める社会の中で未来を創っていくのは、僕たち名もなき市民、一人ひとりの生き方なのだと思う。

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで永遠の生を得るためである。

(ヨハネによる福音書3章16節)

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

※互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと

盛岡YMCA本部事務局移転報告

日頃よりYMCAの各プログラムへのご参加並びに、YMCAをお支えいただいております皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、盛岡YMCA本部事務局は、2月17日より以下住所に移転の運びとなりました。ご確認くださいませますようお願いいたします。今後も変わらずYMCAをお支えいただけますよう心よりお願い申し上げます。

■移転先住所 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3丁目7-18 ラ・ベルヴィ中央1階

■電話番号/FAX番号 019-623-1575/019-623-1579

（2021年2月26日現在）敬称略

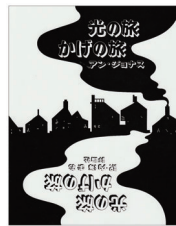
●維持会員

- 廣川健太郎、廣川厚子、廣川はるな、浅沼誠久、花田瞳、山崎詩織、林間つきみ野教会、照井夏輝、光永尚生、釜ヶ澤亮、齊藤優太、魚住恵、accommon、川坂保広、ガイアリンク(株)、小林明彦、人見晃弘、尾張幸久、魚住英昭、清水治彦、若井淳、尾形裕一郎、高瀬稔彦、森山日菜乃、森山幹大、大塚英彦、押切梓、名古屋恒彦、名古屋理恵、今野健男、今野聖子、南原良哉、伊藤真一郎、伊藤みどり、石川菜、浅沼慧、浅沼美希、佐藤翔、小川嘉文、小川明、阿部深雪、高橋友恵、濱塚有史、濱塚真美、武田理恵子、菅原歩、藤原依音、植田一茂、武田悠、向平悟、向平ひろ、滝川佐渡子、一戸貞文、田村治之、大久保里美、東森聡、田村育代、今野謙治、高橋奈菜、工藤悦子、大関靖二、小山憲彦、伊藤信彦、佐々木隆弘、水田賢次、及川茂夫、菊地弘生、水野暢夫、上中優奈、松尾聡子、増田隆、鶴丹谷三千代、井上修三、井上優子、井上浩太郎、栗谷川香、中原真澄、宮田康男、永山聖子、宮田伸樹、大賀真理、櫻井大樹、大澤秋太郎、和田賢一、織笠友理子、泰江道代、大澤篤人、伊藤真太郎、杉田未来、山口貴伸、小林茂元、嵯峨力雄、角谷善治、菊地創、小林昭、千葉浩三、名古屋謙彰、名古屋実和、佐藤洋一、関根伊作、深澤秀男、深澤多紀子、神田橋慧一

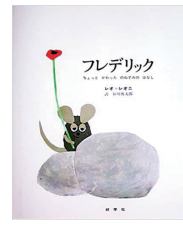
●寄附金

- 花田瞳、山崎詩織、光永尚生、瀬川利恵、川坂保広、小林明彦、人見晃弘、尾張幸久、高瀬稔彦、今野健男、今野聖子、南原良哉、佐藤翔、高橋友恵、田村育代、及川茂夫、小笠原梨香、菊地弘生、大澤篤人、吉田あさな、武田理恵子

今月号の絵本コラムは今まで掲載された絵本を紹介致します。



『4月号掲載』



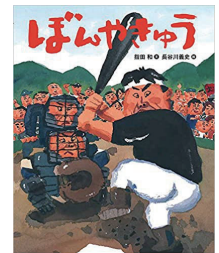
『5月号掲載』



『6月号掲載』



『7月号掲載』



『8・9月号掲載』



『10月号掲載』



『11月号掲載』



『12月号掲載』



『1月号掲載』



『2月号掲載』

表紙の写真から



野外活動を行う時は、スタッフ、リーダーは必ず事前に現地へ下見に行きます。安全等の確認が最優先ですが、同時にリーダー達も楽しさを味わわなければ、子どもたちに楽しさを伝えることはできません。

最新情報はこちらでチェックできます！「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ : <https://www.moriokaymca.org/>

facebook : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>